

導入事例

株式会社ダイフク 様

導入サービス

- Sitecore
- Microsoft Azure、Microsoft Azure マネージドサービス
- SIGNALコンサルティング
- FONTPLUS

プロフィール

DAIFUKU

Always an Edge Ahead

社名	株式会社ダイフク
設立	1937年5月20日
従業員数	7,835人（グループ計） （2016年3月31日現在）
事業概要	物流システムに関するコンサルティングとエンジニアリングおよび設計・製造・据付・サービスなど（搬送システム、保管システム、仕分け・ピッキングシステム、その他事業（電子機器、洗濯機）
URL	http://www.daifuku.com/jp/

「グローバルでブランド認知度の向上を図るための、マルチ言語対応のコーポレートサイト。その設計・構築から監視・運用、コンテンツ制作、CMS活用、アクセス分析まで、ワンストップでサポートしてもらっています」



株式会社ダイフク
広報部
グローバル推進
グループ
係長 榎本 明子氏



株式会社ダイフク
広報部
ブランドプロモーション
グループ
北村 太一氏



株式会社ダイフク
情報システム部
インフラ企画グループ
主査 河瀬 康徳氏

導入のポイント

- 11言語、17の国・地域に展開するグローバルサイトをSitecoreで構築・運用
- ブランド認知度の向上を図るため様々な施策を採用
- サポートベンダーを一元化することで運用にかかる負荷を大幅に削減

抱えていた課題、解決したかったこと

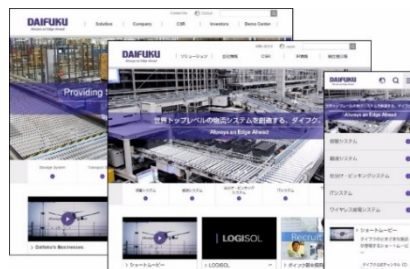
ビジネスを加速させるため、ブランド認知度の向上を目指す

物流システムの総合メーカー「株式会社ダイフク（以下、ダイフク）」。同社のマテリアルハンドリングに関する技術力は、国内のみならず世界レベルで高く評価されている。

これまで、一部の海外現地法人のウェブサイトは、日本国内のウェブサイトと異なるサーバーやコンテンツ管理システム（CMS）を利用し、現地法人が独自に運用していた。そのため、日本からコントロールすることも容易ではなく、セキュリティ面にも不安があったという。

そこでダイフクでは、ビジネス拡大への貢献と同時に、ステークホルダーへのブランド認知度向上やコンテンツの充実など、会社の「顔」として内容を拡充。さらに、ウェブガバナンスの強化、運用の最適化といった目的を果たすために、グローバルコーポレートサイトの全面刷新に着手した。

- コーポレートサイトを全面刷新し、ガバナンスを強化
- グローバルビジネスの拡大とブランド認知度の向上にサイトを活用
- マルチデバイス対応など、先進的な技術への対応と運用環境の最適化を両立



ダイフクのサイトイメージ

導入の要件

各分野で秀でた技術力やノウハウを持ったベンダーのサポートが必須

このような大規模なサイトを短時間で構築し、同時にブランディングやガバナンスの強化を実現するためには、システムインフラ、CMS、コンテンツ制作、デザイン、アクセス解析、マルチ言語対応など、それぞれの分野で秀でた技術力やノウハウを持ったベンダーのサポートは必須となる。

- 短期間にサイトを構築するためのサポート
- 負荷を軽減するため、一元的なサポートに期待

一方、これらの要素を個別の専門ベンダーに任せると運営側の業務が煩雑になり、業務間にできる隙間を埋めるために負荷が増大してしまうケースも考えられる。そのため、サイト構築に関するすべての要素に関して、一元的に対応できるベンダーが理想だと考えたという。

ソフトバンク・テクノロジーを選んだ理由

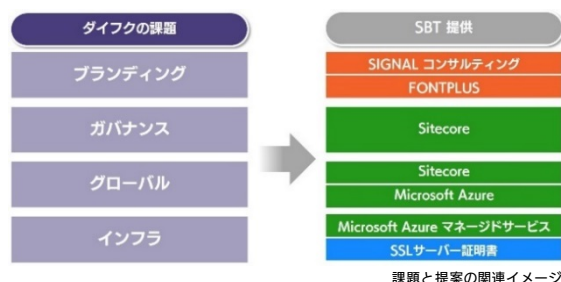
豊富なデジタルマーケティングの実績に基づいたトータルサポートに期待

ダイフクでは、サイトの構築から運用ガイドラインの策定、運用監視、メンテナンス、運用サポートに至る幅広い分野で、クラウド、セキュリティに関する提案をワンストップでサポートするソフトバンク・テクノロジーからの提案を採用した。

特に、マルチデバイス対応、デザインやコンテンツの統一、運用のしやすさ、高度なセキュリティを実現できるクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」とコンテンツ管理システム「Sitecore」、24時間365日運用監視を提供する「Microsoft

- 先進的で安全性の高いシステムインフラの組み合わせを評価
- 豊富なデジタルマーケティングの実績に期待

Azure マネージドサービス」の組み合わせに対する評価は高く、豊富なデジタルマーケティングの実績に基づいた提案であることから、安心して任せることができると判断したという。



導入効果と今後の展望

システム運用だけでなくサイト運用実務においても、ソフトバンク・テクノロジーの提案が貢献

「Sitecore」の導入により、サイト更新時の運用が効率化され、広報や情報システムなど関連部門の運用負荷の軽減につながったという。また、PC、スマートフォン、タブレットなど端末に応じて見やすく表示できるレスポンスデザインにより、閲覧者にとっても快適な閲覧環境が整備されたという。

サイトのデザインに関しても、クラウドからフォントを提供しサイトに表示するウェブフォントサービス「FONTPLUS（フォントプラス）」を利用することで、より印象的かつ効果的な表現が可能となると同時に、SEO対策を両立できた点に関する評価も高い。

多言語対応に関しては、カテゴリごとにテンプレートを構築。画像など言語共通のアセットは、ブランドイメージを考慮して同じ素材を利用し、言語ごとに異なる部分を多言語機能で言語別のバージョンとして管理できるようにすることで、効率的かつ統制のとれたサイト構築を実現した。

- テンプレートを駆使して、多言語サイトの運用を効率化
- 「FONTPLUS」により、表現力向上とSEO対策を両立
- アクセス解析で、より顧客ニーズにマッチしたウェブサイト提供を実現

さらに、サイトの更新・管理に際しての運用ガイドラインを策定することで、グローバルに発信するブランドイメージの整理を図っていく。

今後、ソフトバンク・テクノロジーのサポートを受けながらアクセス解析や運用改善を推し進めることで、より良いサイト作りに取り組んでいくという。



左から ソフトバンク・テクノロジー株式会社 鈴木恭平、冷水勇介、杉浦 智紀

お客様窓口

SBテクノロジー株式会社

〒160-0022
東京都新宿区新宿 6丁目27番30号 新宿イーストサイドスクエア17階

TEL : 03-6892-3154
E-MAIL : sbt-ipsol@tech.softbank.co.jp
URL : <https://www.softbanktech.co.jp/>